

雪から果樹を守ろう

被害発生のパターン

- 樹上や施設への冠雪により、枝折れや施設が倒壊
- 埋もれた樹体等が、融雪とともに沈み込んで折損

降雪前の対策

対策1 木の補強

- ◎雪の重みに耐えられるよう、支柱等で枝を補強
- ◎幼木は、側枝を束ねて支柱に固定

対策2 施設の補強

- ◎棚の倒壊を防ぐため、棚の補強や支柱を増設
- ◎棚上の冠雪を防ぐため、緩んだ番線の張り直し

木柱を入れて枝を補強 ～横手モデル～

主要な枝を木柱で支え、除雪をしなくても被害を2割以下に抑制



降雪後の対策

対策1 除雪の徹底

- ◎雪が軽いうちに、樹上や施設の雪を落とす
- ◎雪に埋もれた枝は掘り起こす

対策2 消雪剤の散布

- ◎散布の効果
雪質を変え、沈み込みによる枝の折損を防止
- ◎散布時期
1月上旬から好天日に複数回散布
- ◎散布量
10aあたり25～30ℓを散布

省力的な除雪方法 ～スノーホール～

作業時に腰をかがめる必要がなく、体への負担が小さく、作業時間が短縮



技術の詳細は
秋田県HPへ



「雪害対策マニュアル」

